

草のみどり

Kusa no Midori

1

特集

司法試験合格祝賀会

国家公務員採用総合職試験合格祝賀会

FRONTLINE | 法学部

法学部生を支える茗荷谷チューデントハブ

中央大学父母連絡会からのお知らせ

保証人の住所変更手続き方法について

大学に登録されている保証人（ご父母）の住所は、本学のポータルサイト「C plus」の「住所変更・通学区間申請」メニューより変更することができます。

C plus ではご子女のみ変更手続きが可能となっております。保証人用の ID・パスワードで C plus にログインした場合は、変更手続きができませんのでご注意ください。

C plus からの住所変更手続きが完了すると、大学および父母連絡会から保証人にお送りする送付物のお届け先住所が一括変更されます。ご不明な点等ございましたら、各学部のお問い合わせフォームよりご連絡いただけますと幸いです。

お問い合わせフォーム：

ご所属の学部のフォームを選択してください。
<https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/>



複数在籍者の会費返還について

父母連絡会費は、複数のご子女が中央大学（通信教育課程を除く学部）に在籍している場合、申請により1名分の会費を除いて納入会費を返還いたします（当該年度に限る）。「会費返還申請書」に必要事項をご記入のうえ、父母連絡会事務局（多摩キャンパス1号館5階）へご提出ください。この手続で複数のご子女で重複して届いている『草のみどり』を今後1部にまとめさせていただきます。なお、この手続は毎年度必要となります。当該年度5月から1月末までにご申請ください。

「会費返還申請書」入手方法：

下記 Web サイト「複数在籍者の会費返還」からダウンロードをお願いします。

https://www.chuo-u.ac.jp/visitor_parent/parents_association/application/general/

お問い合わせ先：中央大学父母連絡会事務局

fuboren-grp@g.chuo-u.ac.jp TEL：042-674-2161



メール配信システムについて

父母連絡会では、地域支部実施イベントや大学の近況・大学実施イベントなどをご案内するメール配信システムを導入しています。メール配信をご希望の方は、以下の QR コードまたは URL よりメールアドレスをご登録ください。ご登録いただきましたら、ご入力いただいたメールアドレス宛に「info-mail@chuo-u-fuboren.jp」より登録完了メールが届きますので、誤りがないかご確認ください。

ご登録にはご子女のお名前、生年月日、学籍番号などのご

入力が必要となります。学籍番号は「草のみどり」1月号の宛名に記載の11桁の英数字（例：2024年度入学生の場合、24から始まる11桁の英数字）です。誤りのないようご入力ください。

ご登録いただきましたメールアドレスは、父母連絡会事務局からの各種ご案内以外の目的には使用いたしません。また、ご子女ご卒業後は自動的にメール配信システムの登録が解除されますので、ご自身での解除手続きは不要です。

- 注1. キャリアメールをご登録いただいている方において、受信拒否が自動設定されている場合がございます。ご確認のうえ、「info-mail@chuo-u-fuboren.jp」を受信リストに追加いただき、メールを受信できるよう設定ください。また、「icloud.com」は推奨しておりませんので、別のメールアドレスでの登録をご検討ください。
- 注2. ご登録完了後、数日経っても登録完了メールが届かない場合は、ご登録いただいたメールアドレスが誤っている、または、迷惑メールフォルダに入っている、受信拒否が自動設定されている可能性があります。その場合は、再度ご登録手続きをとってください。なお、ご登録手続きの際に「既に登録されています」と表示される場合は、注1の手続き後、一度登録を解除いただいたうえで再度ご登録ください。
- 注3. 学籍番号が誤っていた場合、ご登録完了メールは届きますが、その後のメールが配信されませんので、誤りがないようご注意ください。なお、学籍番号を誤って登録してしまった場合は、登録完了メール下部に記載の配信停止用 URL、または、下記 QR コードより一度登録を解除いただいたうえで、再度ご登録ください。
- 注4. ご登録メールアドレスを変更する場合、一度登録を解除いただいたうえで、再度ご登録ください。

ご登録はこちら
https://j.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=lion_pjt&task=regist



メール配信システムについて

https://www.chuo-u.ac.jp/visitor_parent/parents_association/news/2024/03/70502/



登録用

https://j.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=lion_pjt&task=regist



登録解除用

https://j.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=lion_pjt&task=cancel

父母連絡会アンケート協力のお願い

父母連絡会の活動やご父母の皆さまが日頃関心をお寄せいただいていることについて伺いたく、アンケートを実施させていただくことといたしました。今後のサービス向上に役立ててまいりたく、ご協力いただけますようお願いいたします。

アンケート回答締切

1月31日（金）

アンケート所要時間：約3分

<https://forms.gle/MsFQGAGapMoJC7z37>



期間延長
しました！

FACULTY OF GLOBAL MANAGEMENT

世界を人に動かす Vol. 29

企業経営とグローバル経済の先端知識、優れたコミュニケーション能力を養うべく、国際経営学部生は前進を続けています。

海外インターンシップに興味を持った理由

大学1年の春休みに、オーストラリアで1カ月間のインターンシップ研修に参加しました。

私は生まれてからずっと日本で育ち、海外への留学経験もありませんでした。幼少期から英会話スクールに通い英語が身近な環境にあったため、いつかは海外で生活してみたいという漠然とした憧れを抱いていた。



国際経営学部国際経営学科2年
静岡県立静岡高等学校出身

わたなべ はなえ
渡邊 華絵

シドニーでの新たな挑戦

ました。

国際経営学部に入學後、GSというアメリカで大学に通うプログラムがあることを知りました。しかし、国際経営学部の授業は大半が英語で行われており、日本に居ながらにして外国人の教授や留学生とかかわる経験ができていたため、GSで英語を学ぶよりも実践的に英語を使う経験がしたいと考えました。そんな中、学部で提供するシドニーでのインターンシップ制度を知り、これを活用して実践的な英語力を身につけ、将来に向けて視野や可能性を広げたいと思いました。

現地での研修内容

現地でのインターン研修は、Sydney Duty Freeという免税店で行いました。英語をたくさん話す環境に身を置きたいと思った私は、オフィスワークではなく接客業務を選択しました。

研修は平日の5日間、11時から17時まで行いました。販売員は25名ほどで、韓国人や中国人、ベトナム人

などアジア人の方々と一緒に働きました。ワーキングホリデーとして働く日本人の方も2人いらっしゃいました。

現地での仕事内容は、商品の説明やキャリアケースを預かるサービスの対応、届いた商品の点検と陳列でした。常にお客さまが多く忙しい状況だったことから、実際に働きながら周りの販売員の様子を見て仕事を覚えていきました。

販売員の主な仕事は商品説明で、商品の知識を十分に理解する必要があります。オーストラリアはコアラやカンガルーが有名という程度の浅い知識しか持っていなかったことに加え、商品の説明を英語で聞き、その知識をもとに接客するのは非常に大変なことでした。化粧品やサプリメントの効果や成分を覚えたり、T2というメルボルン発祥の紅茶の種類や味を説明したりしたことも。特に化粧品に関しては、「日本



勤務先の外観



店内の様子

では豚や馬の胎盤から作られたプラセンタが多く用いられているのに対して、オーストラリアでは羊の胎盤が用いられており、美白やシワの改善に高い効果がある」という具合に、詳しい説明ができるようになることを求められました。来店されるお客さまは、ウォークインの方だけでなく、ツアーでシドニーに訪れた団体の方も多くいました。

研修中、日本語を話せる人が私しかないという場面も何度かありました。日本の中学生や高校生が修学旅行で来店された際は、ほかの販売員の言語サポートをしたり、率先して免税の手続きを行ったりしました。



第二言語話者同士の 英語での「コミュニケーション」

同僚の多くは観光客に対応できるアジア人でした。私自身、当初は「どうせなら英語圏の人たちと働きたかった」と思っていましたし、周りからは「英語を話すためにオーストラリアへ行ったのに残念だったね」と言われました。

しかし、英語のノンネイティブ同士で会話する際にこそ真の英語力が求められるのだと実感し、非常に多くの学びを得ました。ネイティブ相手なら自分の英語が拙くてもある程度理解してもらえますが、ノンネイティブ同士だと工夫して話さないと理解してもらえないからです。だからこそ、なるべく簡潔でわかりやすい表現を使うようにしたり、互いの理解を深めるために聞くことに注力したりするなど、さまざまな工夫を行いました。

全体を通しての学び

1ヵ月間の研修中、働くことだけでなくホームステイも貴重な経験となりました。ホストファミリーは、オーストラリア、コロンビア、ドイツの血系が混ざった家庭でした。年齢の近い子どもが3人おり、一緒に夕食を準備したり、出掛けたりする中で会話を楽しむことができました。今年の5月にはホストファミリーが旅行で日本を訪れ、一緒に観光を楽しむことができました。インターンシップに挑戦したおかげで新たな出会いが生まれ、より充実した日々を送ることができています。

実践的な英語力をつけたいという当初の目標については、無事達成することができました。研修は1ヵ月という短い期間ではありましたが、日常的な会話フレーズを学べたうえに、より一層英語力を向上させたという強い意欲が湧きました。

最後に

私はこのインターンを通して、語学力を向上させることだけでなく、将来に向けて視野を広げることができた実感しています。インターンに挑戦する前は「大学1年生が海外で働くのは難しいのではないか」と躊躇していましたが、今となっては

挑戦して本当に良かったと思っています。まだ将来やりたいことが明確ではない人にとって、海外インターンシップは自身と向き合うとても良い機会になると思います。新たなことに挑戦することは非常に勇気のあることです。私も自分の可能性を信じて、今後も挑戦し続けます。

え及ばないようなアイデアが得られることがあります。想定外の意見が出ると、それに対して考えを述べるといったやり取りを通じて、思いもよらない相乗効果が生み出される可能性があります。

会社が存在する理由は何でしょうか。十人がばらばらで仕事をするよりも、十人が協力して議論しながら仕事することによって相乗効果が得られるからです。多国籍企業では、異なる文化や知識を持つ人達との協同作業によって、革新的なアイデアや新しいビジネスが次々と生み出されています。

コロナ禍ではオンラインでしか仕事ができなかったで、会社の生産性は下がったと思います。五感を使う対面での協同作業は、メールやオンライン会議では容易に代替できないからです。そこで皆さん、積極的な議論をしましょう。



田淵ゼミ集合写真

ホームステイ先での食事



現地で仲良くなったインドネシア人と



ホストファミリーが来日した際のお祭り

国際経営学部だより

沈黙は金？

たぶち たかとし
田淵 隆俊 国際経営学部教授

小学生は授業で積極的に手を挙げて発言するのに、大学生になるとあまり発言しなくなっています。Speech is silver, silence is golden（雄弁は銀、沈黙は金）のような伝統が日本にはあるのでしょうか。たとえばアメリカでは、大学生が積極的に手を挙げて質問し自分の意見を述べます。沈黙は金だと思ってアメリカで授業中黙っていると、授業内容がわかっていないとみなされてしまいます。

少しい外れな質問であっても、誰かが質問してくれると、教員の応答によって理解が深まり、周りの学生も助かります。教員がわかっていることであっても、学生が知らないことだと理解がついていかないことが多々あります。キーワードを早口で説明されて理解できなかったら、その後に続く説明がわからなくなってしまう。そんなときに誰かが手を挙げて質問してくれると、多くの学生の理解を助けることになります。そこで皆さん、小学校の頃を思い出して、ぜひ手を挙げて質問しましょう。

私が担当している演習（ゼミ）では、なるべく議論するようにしています。一人で学習することも大事ですが、議論することによって、一人では考